

<健康チーム>

【児童生徒の実態】

- ・全体的に体力向上に対する意欲が低く、運動への関心において男女差がある。また、種目によっても児童生徒の意欲の高さに差が見られる。
- ・立腰指導は中学校において定着してきたが、小学校においては不十分な部分がある。
- ・朝食を食べる割合は高いが、内容に関して課題のある児童生徒が見られる。また、食べてこない理由には、生活リズムの乱れによるものが多い。
- ・体が硬い児童が多く、体育の授業では容易にけがをしてしまう児童生徒が見られる。

【部会のねらい】

- ・体育での安全指導や身体の使い方、体力向上について、小中の発達段階に応じた指導を行う。
- ・朝食摂取の充実と身体作りの意識の向上を図る。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	①けがの予防のために、3校統一して取り組むための「二中学区体操」の運用 ②立腰指導の継続、各校の学校保健給食委員会への参加 ③朝ごはん毎日食べよう週間の実施、朝食アンケートでの実態把握、朝食欠食児童生徒への個別指導 ④5月、11月「からだWEEK」の実施、外遊びの奨励
成果	・二中学区体操を小学校から指導しておくことで、中学校に入学してからの指導がしやすい。 ・からだWEEKを2回に分けたことで、年間を通した体力向上への意識付けが図れた。 ・朝の立腰は習慣化することができた。 ・二中学区献立の紹介動画が良かった。
課題	・運動会や体育祭で二中学区体操を統一して行うようにする。 ・授業中の姿勢やタブレット使用時の姿勢が悪い。 ・朝食アンケートをもとに、個別に朝食の指導ができるようにする。

二中学区体操



委員会児童による企画



立腰

